



Snap Creator Framework の動作

Snap Creator Framework

NetApp
January 20, 2026

目次

Snap Creator Framework の動作	1
Snap Creator を使用するメリット	2

Snap Creator Framework の動作

Snap Creator Framework を使用すると、あらかじめパッケージ化されたカスタムプラグインを使用できるため、Windows および UNIX (AIX、 HP-UX 、 Linux 、 Solaris) のさまざまな環境で、さまざまなサードパーティ製アプリケーション、データベース、ハイパーバイザーのデータ保護を標準化し、簡易化できます。

Snap Creator は、 Snapshot 、 SnapVault 、 Open Systems SnapVault 、 SnapMirror の各機能に加え、 NetApp Management Console のデータ保護機能、 Operations Manager コンソール、 FlexClone を活用することで、以下の機能を実現します。

- ・ アプリケーションと整合性のあるデータ保護

重要な情報をバックアップするための一元化された解決策。既存のアプリケーションアーキテクチャと統合して、データの整合性を確保し、運用コストを削減します。

- ・ 拡張性

モジュラ型アーキテクチャとポリシーベースの自動化により、迅速な統合を実現します。

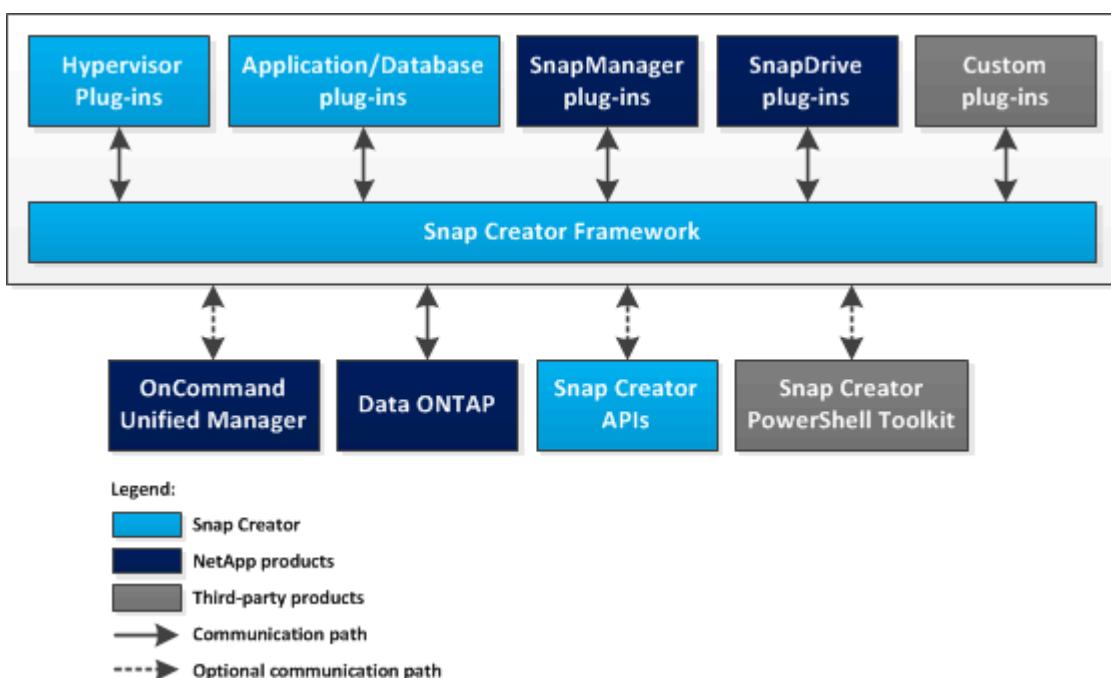
- ・ クラウドへの対応

オペレーティングシステムに依存しない Snap Creator 機能。物理プラットフォームと仮想プラットフォームをサポートし、 IT サービス環境およびクラウド環境との相互運用性を実現します。

- ・ クローニング機能

スペース効率に優れたデータクローニングは、開発とテストを目的としてサポートされています。

次の図は、 Snap Creator Framework のコンポーネントを示しています。



Snap Creator を使用するメリット

Snap Creator Framework は、さまざまなストレージ要件に対応するシンプルで柔軟なソフトウェアフレームワークを提供します。

Snap Creator は、さまざまなストレージ要件に対応するために、次のような状況で使用されます。

- ・複数のオペレーティングシステム、ハイパーバイザー、アプリケーション、データベースが存在する環境を、1つのインターフェイスとして管理できます。
- ・SnapManager 製品を搭載していないアプリケーションまたはデータベースのバックアップ、リカバリ、クローニングを行う場合。たとえば、IBM DB2、MaxDB、SAP HANA などです。
- ・SnapManager for Microsoft Exchange Server および SnapManager for Microsoft SQL Server が環境にセットアップされている場合、バックアップおよび監視用の一元化されたインターフェイスとして機能する
- ・SnapManager 製品を含むアプリケーションまたはデータベース（Oracle など）を使用しているにもかかわらず、ホスト環境が Interoperability Matrix (IMT) などの要件を満たしていない場合。
- ・ストレージ操作用のカスタムスクリプトを置き換えることで、整合性のある方法で Snapshot コピーを作成し、SnapVault 更新や SnapMirror 更新を実行し、ボリュームや LUN のクローンを作成し、Snap Creator のワークフローを通じて任意の場所でカスタムスクリプトを呼び出すことができます。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。